



とびっくす

No.128

(本誌はホームページでもご覧いただけます。 <https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>)

マイワシ今昔物語 ～食卓の味方、その軌跡～

今は昔、1980年代にはマイワシはそのあまりの漁獲量の多さに、全国で備蓄用の冷凍冷蔵庫の建設が相次ぐほどでした。その後、2000年代に入り、長い間漁獲量が低迷する冬の時代がありましたが、近年、ようやく漁獲量に回復の兆しが見えてきています。シラスや煮干し、刺身や煮つけなど様々な形で私たちの食卓を支え、「食卓の味方」と言える存在であるマイワシの軌跡について紹介します。

島根県におけるマイワシの漁獲量と資源量

島根県におけるマイワシの漁獲量は、記録が残る1956年から2025年までの70年間で、劇的に変動してきました。特に1980年代後半には記録的な高水準に達しましたが、その後急激に減少しました。2010年頃から回復の兆しが見え始めましたが、2025年時点でも1980年代の高水準には遠く及ばない状況にあります(図1)。

この漁獲量の変動の背景には、日本海を含む対馬暖流域に分布する「マイワシ対馬暖流系群」の資源動向が影響しています。本系群の資源量は1980年代の高水準期を経て、1990年代前半に減少しました。現在は、1980年代と比較すると、依然として低い水準にありますが、直近5年では増加傾向に転じています。

昔のマイワシより今のマイワシの成長が早い?

マイワシは資源量の多寡によって成長速度が変化し、資源量が多い場合には餌をめぐる種内競争等により、成長が抑制されることが知られています。

そこで、今と昔のマイワシの成長を比較するため、今のマイワシ(2026年4月に浜田漁港で水揚げされた個体)の年齢と体長を調べました。なお、年齢はマイワシの頭部から採取した耳石の構造*から推定しています。次に、昔のマイワシ(資源の高水準期にあたる1980年生まれ)の年齢と体長の関係式を用いて、今と昔を比較しました(図2)。

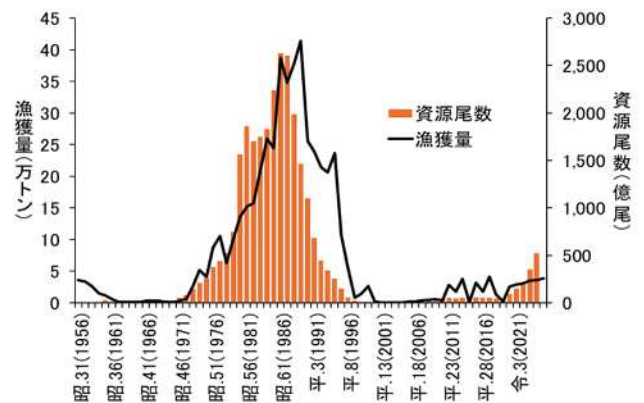


図1. 島根県におけるマイワシの漁獲量(全漁法)と対馬暖流系群におけるマイワシ資源尾数
 漁獲量: 1956年～2006年は農林水産統計、
 2007年～2025年島根県による統計を参照
 資源尾数(1960年～2024年): 令和7年度マイワシ対馬暖流系群の資源評価を参照

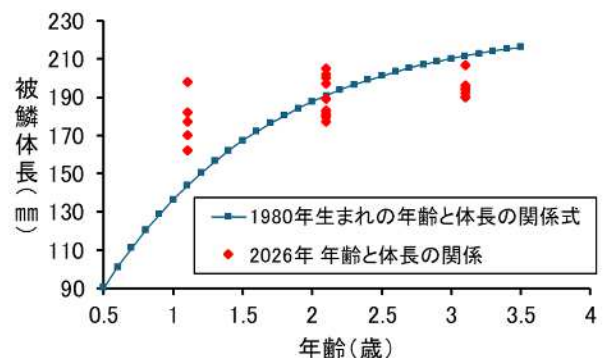


図2. 今と昔のマイワシの年齢と体長の関係の比較

各年齢の体長を比較した結果、1歳時点で今(2026年に漁獲された個体)の個体のほうが昔(1980年生まれの個体)の個体より体長が大きく、2歳・3歳はほぼ同じような成長をしていることが分かりました。このことから、1歳時点での成長は今の個体のほうが、早いことが示唆されます。

ただ、本解析はサンプル数とサンプル採取時期が限られたため、今後は継続的により多くの個体を対象とした解析を行い、マイワシの成長について追跡していきます。
 ※耳石(じせき)を用いた年齢の推定は、頭部に左右一対存在する耳石に形成される年輪構造(図3赤線)を読み取ることで行います。



図3. マイワシ耳石(推定2歳)

マイワシと他魚種の関係性

我が国周辺海域では、マイワシ、カタクチワシ、マアジ、マサバといった主要浮魚類の間で、数十年規模で優占種が入れ替わる「魚種交代」が観察されてきました。この現象は、海洋環境の長期変動(レジームシフト)や種間の生存競争等によって引き起こされると考えられています。当県の漁獲トレンドも例外ではなく、カタクチワシ・マアジ → サバ類 → マイワシ → カタクチワシ・マアジというように、数十年規模で周期的に漁獲トレンドの変化が見られました(図4)。

しかし、ここ20年では、大きく増加している魚種はなく、マイワシとサバ類が漸増傾向にあります。このような状況は、従来の変動パターンと一致しません。そのため、今後はマイワシを含む主要浮魚類の漁獲量だけでなく、魚類の成長等の観点からも動向を注視していきたいと思えます。

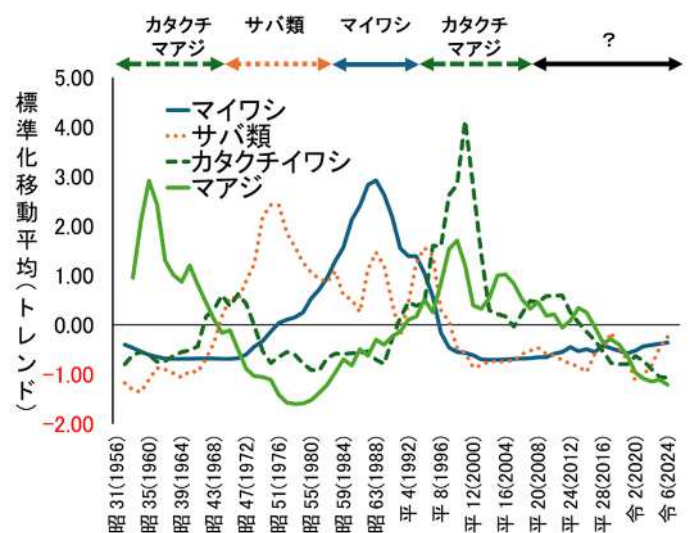


図4. 島根県におけるマイワシ、カタクチワシ、マアジ、サバ類の漁獲トレンド

おわりに

私たちの食卓の味方であるマイワシの資源動向は依然として変動が大きく、安定した漁獲が今後どの程度続くかを予測することは容易ではありません。春以降、マイワシは島根県沖でまとまった漁獲がみられることから、この機会にマイワシを食卓に並べてみませんか。

これから脂がのり、いわゆる「梅雨イワシ」と呼ばれる時期に入ります。梅雨の梅の文字になぞらえて、梅と一緒に煮る「梅煮」で旬の味を堪能しつつ、頭部から耳石を探してみたいはいかがでしょうか。

島根県水産技術センター 島根県浜田市瀬戸ヶ島町 25-1
 TEL:(0855)22-1720 FAX:(0855)23-2079
 ホームページ: <https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>
 E-mail: suigi@pref.shimane.lg.jp